

東北地方太平洋沖地震により被災された方々に対し 衷心よりお見舞い申し上げます

このたびの東北地方太平洋沖地震により、お亡くなりになられた方々に対し、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被害を受けられました寺院・教会並びにご門徒をはじめ被災者の方々に対し、衷心よりお見舞い申し上げます。

災害救援本部通信

発行日：2011 年 3 月 24 日
発行所：真宗大谷派宗務所
発行人：災害救援本部長 黒川紘紀

＝被災状況＝

本堂倒壊など
多くのご門徒が被災

三月十一日に発生した地震や津波により、多くのご門徒が被災し、また当派寺院も本堂の倒壊など大きな被害を受けています。

特に、仙台教区（岩手県・宮城県・福島県）では、被災地域への立ち入り制限や電話の不通により被害や安否確認が把握し難い状況が続いています。また、福島第一・第二原子力発電所に近い地域には避難勧告等が出されています。被害の少ない寺院では、避難所や遺体安置所となつているところもあります。

仙台教区以外にも奥羽・山形・東京・三条・高田の各教区で合わせて三百カ寺を超える寺院が被災しているほか、それらの教区と北海道教区のご門徒にも被害が出て

いると各教区から報告が寄せられています。
殊に住職・寺族・多くのご門徒の方々がお亡くなりになっていることが確認されています。

＝被災地へ救援物資を＝

宗派は、三月十一日の地震発生直後、災害救援本部会議を開き、翌日から宗務所職員を現地に派遣し、北陸の各教区で集約した救援物資も含め、現地に届けました。十三日以降も職員の現地派遣や物資の輸送は続けられています。

また、現地災害救援本部を仙台教務所（仙台市宮城野区）に設置。黒川紘紀参務が災害救援本部長として十三日に現地入りし、仙台教区に見舞金をお渡しするとともに、



陸前高田市

（3月22日現在）

宗派見舞金 1 億 2,500 万円

内訳

仙台教区 1 億 300 万円
奥羽教区 100 万円
山形教区 100 万円
東京教区 2,000 万円

各教区から災害救援本部に届けられた救援金

北海道教区	200 万円
岡崎教区	200 万円
名古屋教区	300 万円
長浜教区	300 万円
京都教区	100 万円
四国教区	100 万円
長崎教区	200 万円
熊本教区	50 万円
鹿児島教区	100 万円



御遠忌における一般参拝者をお迎えするために増床された一階部分には、災害救援金受付が設置されています。



水、ブルーシート、タオル、米、菓子等が救援物資として現地へ！

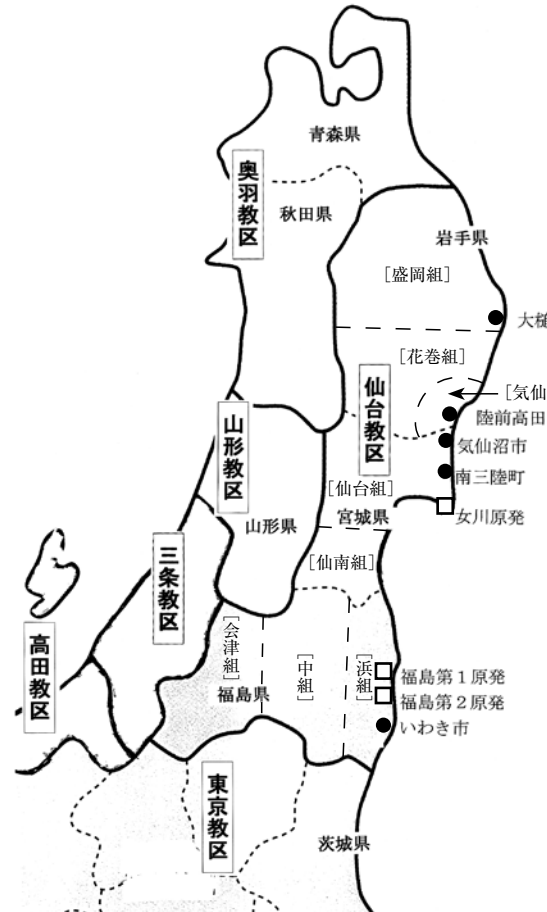
翌日から被災寺院へのお見舞いを行いました。また、特に北海道・東北・関東地方の各教区では、各教務所員が教区内を巡回し、災害見舞い及び被害状況の把握に努めています。

これまで全国の各教区からも救援金が本山に届けられており、また既に宗派からの見舞金として、合計一億二千五百万円が奥羽、山形、仙台、東京の各教区へ届けられることが決定しています（上表参照）。なお、本山では、救援金口座の開設をはじめ、境内各所に救援金箱を設置しています（裏面掲載）。

東北地方太平洋沖地震 各教区の被害状況について（概要）

2011年3月22日 現在

教 区	寺院等の被害状況について	ご門徒の被害状況について
北海道	函館市、苫小牧市、えりも町、浦河町、広尾町、釧路市、浜中町、根室市、津波到達あるが寺院被害なし 別院、関係学校生徒被害なし	函館、帯広、釧路方面＝床上・床下浸水被害有
奥 羽	青森県第3組 12カ寺中2カ寺被害有＝墓石ズレ 秋田県南組 43カ寺中3カ寺被害有＝本堂壁剥落 奥羽教務所→電気（12日18時復旧）	青森県第3組門徒被害調査中 秋田県南組被害なし
山 形	全寺院 145カ寺中12カ寺被害有＝本堂内柱歪み、本堂落縁・向柱礎石ズレ、本堂壁剥落等 山形教務所→ガス・水道・電気（12日18時復旧）	被害調査中
仙 台	盛岡組 18カ寺中9カ寺被害有＝墓石倒壊、壁崩落、仏具落下・倒壊等 花巻組 20カ寺中17カ寺被害有＝庫裏全壊、壁剥落、仏具落下・倒壊、瓦落下、墓石倒壊等 気仙組 10カ寺中17カ寺被害有＝瓦落下、仏具落下・倒壊、墓石ズレ、壁剥落等 仙台組 20カ寺中20カ寺被害有＝山門倒壊、浸水、本堂壁崩落、墓石倒壊、仏具落下・倒壊等 仙南組 6カ寺中6カ寺被害有＝壁崩落、墓石倒壊、仏具落下・倒壊等 津組 9カ寺中9カ寺被害有＝壁崩落、仏具落下・倒壊等 中組 13カ寺中13カ寺被害有＝本堂傾、瓦落下、墓石倒壊、壁崩落、仏具落下・倒壊等 浜組 9カ寺中9カ寺被害有＝福島原発避難地域、本堂全壊、半壊、庫裏半壊、瓦落下、墓石倒壊、 仙台教務所→電気（12日16時復旧）、水道（15日11時復旧）、ガス不通	盛岡組被災者有 花巻組被災者多数 気仙組被災者多数 仙台組被災者多数 浜組被災者多数 ※被害調査中
東 京	茨城1組 40カ寺中39カ寺被害有＝本堂等壁剥落、瓦落下、仏具倒壊、墓石・灯籠倒壊等 茨城2組 31カ寺中31カ寺被害有＝山門倒壊、山門傾斜、瓦落下、壁崩落、墓石倒壊等 群馬組 19カ寺中17カ寺被害有＝本堂壁剥落、瓦落下、墓石・灯籠数基倒壊等 栃木組 16カ寺中15カ寺被害有＝本堂壁剥落、仏具落下、瓦落下、墓石・灯籠数基倒壊等 埼玉組 25カ寺中14カ寺被害有＝本堂壁剥落、墓石倒壊、仏具落下等 千葉組 21カ寺中15カ寺被害有＝庫裏沈下、墓石数基倒壊、仏具一部倒壊等 東京1組～東京8組 152カ寺中85カ寺、神奈川4カ組（横浜組・川崎組・三浦組・湘南組）59カ寺中16カ寺被害有＝墓石倒壊、瓦一部落下、壁剥落、仏具落下等 山梨組、長野1～6組 109カ寺中6カ寺被害有＝墓石倒壊、壁亀裂等	被害調査中
三 条	第24組（十日町）7カ寺中1カ寺被害有＝本堂一部壁剥落 ※12日雪崩（十日町、魚沼）被害なし	岩手県、千葉県在住門徒に被害有
高 田	第5組 15カ寺中1カ寺被害有＝本堂壁剥落、仏具転倒 第6組 51カ寺中1カ寺被害有＝本堂柱沈み 第11組 28カ寺中1カ寺被害有＝本堂壁剥落 第12組 24カ寺中1カ寺被害有＝仏具転倒	被害なし



災害救援本部からのお知らせは宗派ホームページ（<http://www.higashihonganji.or.jp/>）に掲載しています

真宗本廟境内に救援金箱を設置しています

現在、境内各所（御影堂・阿弥陀堂・参拝接待所・同朋会館・御影堂門下及び大谷祖廟事務所・涉成園・総会所）に救援金箱を設置しています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



救援金口座を開設しています

当派では、このたびの「東北地方太平洋沖地震」に対し、お見舞いの救援金を募ります。皆様方の温かいご支援をお願い申し上げます。

〈本山（宗務所）窓口〉

郵便振替口座番号 01030-4-2244

加入者名 真宗大谷派宗務所財務部（救援金）

※ 振替用紙の通信欄に「東北地方太平洋沖地震災害救援金」と明記くださるようお願いいたします。

災害救援本部長（黒川絃紀参務）より報告 「被災者支援のつどい」にて〈抜粋〉

私は、地震発生から三日目に仙台市へ入り、直ちに仙台教務所に現地災害救援本部を設置しました。教区内外のあらゆる方々・さまざまな角度から情報を収集し、宮城・岩手両県内の寺院や、周辺の避難所等へ救援物資を持参し、お見舞い及び被害調査のための巡回をしました。

現地の想像を超絶する惨状に適切な表現ができかねます。避難所では、一度に一瞬にして多くの家族を亡くし、また家族の安否がわからない不安と悲しみの中、少ない物資を分け合いながら助け合っておられます。

ある寺院では、住職自身が、避難をしながらご門徒の安否を尋ねておられました。「三年間積み立てをしながら、この御遠忌にお参りすることを楽しみにしておりました」ご門徒の方々が、たくさんお亡くなりになりました」とお聞きしました。

現地災害救援本部（仙台教務所）より 本山への現況報告（3月22日付 抜粋）

原発問題で立ち入ることのできない仙台教区浜組を除く教区内全組に現地入りし、第一次状況確認が完了しました。

いまだ不確実な情報が多く、寄せられる情報が日に日に変わってくる状況です。

今もなお、沿岸地域の被災地ではライフラインが全て寸断されている地域もある中、支援物資のあふれている避難所や全く欠乏している所があるのが現状ですが、欠乏している地域には当然交通事情が改善されていないことから、当本部も立ち入ることが難しいという状況です。そのような状況下であっても



御影堂広縁に設置された災害救援金箱

皆さん一様に、京都から来たことに御礼の言葉をかけてくださいました。そのお姿に人間同士のつながりを感じ、かえってこちらが生きる勇気をいただきました。御礼を言うべきは、むしろ私であると感じたことです。

被災地では、多くの命を失いながらも、必死に生きる命の姿がたくさんあります。子ども

支援物資を届けることができた寺院や避難所では、大変喜ばれ、



避難所となっている寺院

が無邪気に遊ぶ姿に胸が痛むとともに、そこに希望の光が見えます。被災地の惨状は現実であり、誰にも起こり得ることです。今、私たち一人ひとりにできることは限られているかもしれませんが、しかし、その限られた小さな一つ一つを、一人ひとりがしっかりと重ね合わせ、被災地へ物として、心として届けたいと切に願っています。

被災地にいた者の責務として、この現実をあらゆる人々に伝え、復興した街の姿を、人々が活き活きと生活を送るお姿を、またいつか必ずや見れることを願い、全力で支えていくことを、親鸞聖人の御前で皆さまとともに誓いをあらたにしております。

各教区から見舞金が次々と届けられております。また、真宗本廟境内各所に救援金箱を設置しています。あわせて「災害救援金口座」を開設しました。何とぞ皆さまの温かいご支援をお願いいたします。

このたびの地震によりやむなく宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌第一期法要が中止となり、三月十九日から二十八日まで「被災者支援のつどい」を開催しています。次第は次のとおりです。

- ・大谷暢顯門首「開会のことば」
- ・安原晃宗務総長挨拶
- ・勤行（同朋唱和）正信偈草四句目下・念仏・和讃（三淘）・回向
- ・黒川絃紀災害救援本部長からの被災地状況と宗派の救援活動について（報告）
- ・つどいに寄せるメッセージの朗読
- ・法話

閉会にあたって（宗務総長挨拶）



※「被災者支援のつどい」について、詳しくは『同朋新聞』4月号をご覧ください。

不安を拭いきれないのも事実であり、多くのご門徒も被災されていることからその支援についても今後の課題となります。



宗務所から救援物資を搬出！

被災者の受け入れを行っています。

宗派ホームページに受け入れ先を掲載しています。詳しくは災害救援本部にお問い合わせください。

被災者支援のつどい

被災地に向け食料品の調達にご協力ください！

現在、災害救援本部では、特にお米（白米）のご提供のご協力をお願いしています。これまでも全国のご寺院・ご門徒からさまざまな物資等のご提供をいただいております。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

■送付先 災害救援本部 〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 真宗大谷派宗務所（東本願寺）内
Tel 075-371-9184 FAX075-371-9196

※ご持参いただける方は参拝接待所で受け付けています。